

平成三十一年度学力検査

A
国

語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問題用紙

著作権に配慮して別紙は
のせておりません

- 注 意
- 一、「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
 - 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
 - 三、問題は、**1** から **6** までで、六ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
 - 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄に受検番号を書きなさい。
 - 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
 - 六、「終了」の合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

- ① 観衆の声が響く。
- ② 自らを戒める。
- ③ 装飾を施す。
- ④ 選手を激励する。
- ⑤ 日の光をあびる。
- ⑥ 無駄をはぶく。
- ⑦ 材料をじゅんびする。
- ⑧ 食糧をちよぞうする。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

- (一) 傍線部分①「深」は、総画数が十一画の漢字である。次のア～エの行書で書かれた漢字をそれぞれ楷書で書いた場合、総画数が「深」と同じ十一画になるものはどれか、最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、記
イ、烈
ウ、兼
エ、習

- (二) 文中の□に当てはまる言葉として、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、困ったような イ、さびしそうな ウ、さわやかな エ、ゆううつな

- (三) 傍線部分②「られ」と用法・はたらきが同じものはどれか、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、私は友だちに助けられる。
イ、私は六時に起きられる。
ウ、作品には力強さが感じられる。
エ、先生が会議に出られる。

- (四) 傍線部分③「やってほしいこと、ある」とあるが、この発言を受けて、優希がめぐみにお願したことはどのようなことか、優希がめぐみにお願した理由にふれて、本文中の言葉を使って、四十五字以上五十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

- (五) 傍線部分④「人はどんなとき、なにがきっかけで強くなるんだろう」とあるが、めぐみは優希のどのような行動から、どのような強さを感じ取ったか、そう思ったのか、「……強さを感じ取った。」につながるように、本文中の言葉を使って、五十字以上六十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 傍線部分①「読書をする」と、あるいは学問をすることの意味とは何なのだろうか」とあるが、これまで知らなかった知識を得ることのほか、どのようなことに読書や学問をすることの意味があると筆者は述べているか、「……こと。」につながるように、本文中から三十字以内で抜き出して書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(二) 傍線部分②「確かに」と品詞が同じものはどれか、次のア、イから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、大きな意味を持つ。

イ、静かな環境で過ごす。

ウ、直ちに出發する。

エ、実におもしろい本だ。

(三) 文中の に当てはまる言葉として、次のア、イから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、または

イ、ところで

ウ、しかし

エ、なぜなら

(四) 傍線部分③「学ぶ」ということの最初の経験なのであるが、「学ぶ」ということの最初の経験」の具体的な例として、筆者が挙げているのはどのようなことか、本文中の言葉を使って、六十字以上七十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(五) この文章の内容に合うものとして、次のア、イから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、「何も知らない自分」を知ること、世界は自分のために回っているような錯覚を持ち、感動が生まれる。

イ、日常を普通に生きていくことに満足するところから、学問や研究などへの興味、モチベーションが生まれる。

ウ、世界を所有し、世界に包まれることで、それぞれの個人のなかに世界と向き合うための基盤が生まれる。

エ、勉強や読書をする、自分を客観的に眺めることになり、自分を見る新しい視線が自分のなかに生まれる。

4

次の文章には、ある人(かの人、かのもの)と和尚(二休)が山野を散策したときの様子が書かれている。これを読んで、あとの各問いに答えなさい。(六點)

正月の末頃

散策して

ひたすら

(注1)

むつきのすゑつかた、ある人和尚にともなはれ、逍遙して山野にあそび、見るにつき、聞につき、ひた物例のかる口を仰られ、

われもよろこび、人をも興ぜさせ給ふ。

はるかな大空を

雁

(注2)

折りふしはるかに雲井のそらを、かりがねの友をしのび、こしにかへるかと思しくて、二羽つらなりてとび過ける。かの人

①

一休に申けるは、「いかに、只今そらを過るかりがねは、いづちへかおり申さん、御申あれ」といひける。和尚聞しめされ、

お聞きになり

②

蛇

すべに

「天にかね一ぱい、じやのひげ三すじといへる、じやのひげは、いか計ながからん。ちやくと申されよ」とのたまふ。かのもの

いふべきやうはなし。

「さればじやのひげとやらんは、けふまでいまだ見たる事侍らず。しらぬに候」と申ける。一休、「されば、

気が合つて

あのかりも、おうしうへかおりなん、つくしへかおりなん、終にかりがねなどと、同心してあゆみたる事侍らねば、しらぬなり」

とこたへ給ふ。

(「二休ばなし」による)。

(注1) かる口

即座に、軽妙に洒落を言うこと。

(注2) こし

越。北陸地方の古い呼び名。

(注3) 天にかね一ぱい

星空を渡る雁の隊列の例え、あるいは、子どもの唄えごとの一種といわれる。

(注4) おうしう

奥州。東北地方の古い呼び名。

(注5) つくし

筑紫。九州の古い呼び名。

- (一) 二重傍線部分①～④の中には、主語が他と異なるものが一つある。その番号を書きなさい。
- (二) 波線部分「いふべきやうはなし」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。
- (三) 本文の内容に合うものとして、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。
- ア、一休は、ある人からの難問にすぐに答え、相手が答えられない難問を返し、反対に相手を降参させてしまった。
- イ、一休は、ある人からの難問に直接答えず、相手も答えられない難問を返し、自分も同様に答えられないと返答した。
- ウ、一休は、ある人からの難問に答えるため、相手が答えられない難問を返し、相手が考えている間に答えを考えた。
- エ、一休は、ある人からの難問に答えようと、相手にも同じ難問を聞き返し、二人で考えることで答えを導き出した。

(次のページへ) ↓

中学生のひかりさんは、小学校六年生に対して、中学校生活について説明することになった。次の【発表原稿】、【資料】は、ひかりさんが説明のために作成したものの一部であり、【質問アンケートの結果概要】は、事前に小学校六年生に行った質問アンケートの結果をまとめたものの一部である。これらを読んで、あとの各問いに答えなさい。(六 点)

【発表原稿】

みなさん、こんにちは。私は野原中学校で生徒会長をしている青木ひかりです。今日は、中学校生活について、みなさんに回答してもらった質問アンケートの結果に基づいて、説明したいと思います。中学校では、教科ごとに担当の先生が決まっていたり、放課後に部活動があつたりと、小学校までの学校生活と変わる部分がたくさんあります。A 今、みなさんは、中学校生活への期待もあり、不安もあると思います。B 今から、私の話を聞いて、みなさんの不安が少しでも解消し、中学校生活への期待が膨らんでくれれば嬉しいです。

最初に、登校してから下校するまでの、大まかな中学校生活の流れを説明します。C 教室には、八時二十五分までに入ります。野原中学校では、朝の読書活動に取り組んでいますので、まず、読書をします。朝の読書後は、朝の会で担任の先生からの連絡があり、午前中は四限、授業があります。昼食を済ませて、午後からは二限、授業があります。その後、掃除、帰りの会があります。部活動に入っている人は、部活動に参加します。部活動が終わりしたい、下校します。小学校よりも授業時間が長く、放課後に部活動がありますが、勉強と部活動の両立が中学校生活を充実させるポイントだと私は考えています。

次に、みなさんに行った質問アンケートの結果、中学校生活について一番知っていたことは、「勉強について」、「部活動について」、「学校行事について」の順に多かったので、一番多かった、中学校での勉強から順に、話をします。D 中学校では、小学校で勉強したことを基本にして、発展的な勉強をします。でも、心配はいりません。中学校での勉強も、小学校での勉強と同じように、授業中に先生の話をしっかり聞くこと、家庭学習をしっかりすること、より理解できるようになります。中学校での勉強に不安を感じている人は、小学生のうちから、家庭学習を習慣をつけておくとよいと思います。小学校で勉強したことを、さらに詳しく勉強できる中学校の授業は楽しいですよ。

ここまで話を聞いて、何か質問はありませんか。

【資料】

①日課表

朝の読書	朝の会	授業 1限-4限	昼食	授業 5限-6限	掃除	帰りの会	部活動
8:25-	8:35-	8:50-	12:40-	13:20-	15:15-	15:30-	15:50-

②野原中学校の部活動

〈運動部活動〉

- ・野球部
- ・サッカー部
- ・テニス部
- ・陸上部
- ・バスケットボール部
- ・バレーボール部
- ・卓球部

〈文化部活動〉

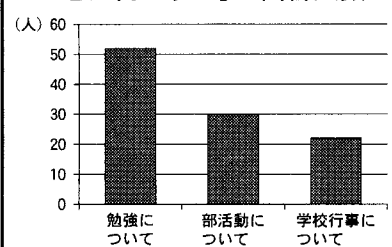
- ・吹奏楽部
- ・美術部
- ・家庭部

③野原中学校の主な行事

4月	始業式、入学式、新入生歓迎会
5月	中間試験、体育祭
6月	期末試験
7月	終業式
8月	
9月	始業式、中間試験
10月	文化祭、合唱コンクール
11月	期末試験
12月	終業式
1月	始業式、百人一首大会
2月	学年末試験
3月	卒業式、修了式

【質問アンケートの結果概要】

「中学校生活について一番知っていたことは何ですか」の回答人数



(対象：小学6年生 104人)

〈小学生からの具体的な回答の内容〉

- ◆「勉強」について
 - ・勉強は難しいですか。
 - ・普段の勉強は、どのようなことをするとよいですか。
- ◆「部活動」について
 - ・どのような部活動がありますか。
- ◆「学校行事」について
 - ・1年間に、どのような行事がありますか。

(一) ひかりさんが発表の中で【資料】の「①日課表」を見るように指示するとき、【発表原稿】の A ～ D のどこで指示するとよいか、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、A イ、B ウ、C エ、D

(二) 【発表原稿】について、ひかりさんはどのように話を進めようとしているか、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、中学校生活の一日の流れを説明し、次に、質問アンケートの結果、回答人数が一番多かった「勉強」について話している。
 イ、中学校生活の一日の流れを説明し、次に、質問アンケートの結果、回答人数が一番多かった「部活動」について話している。
 ウ、中学校生活の年間の流れを説明し、次に、質問アンケートの結果、回答人数が一番多かった「勉強」について話している。
 エ、中学校生活の年間の流れを説明し、次に、質問アンケートの結果、回答人数が一番多かった「部活動」について話している。

(三) 【発表原稿】の続きとして、【質問アンケートの結果概要】に沿って話を進める場合、ひかりさんはどのように話を進めていくとよいか、次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、小学生からの質問に対応した後、部活動、主な行事のことを説明し、最後に小学生へのメッセージを話す。
 イ、小学生からの質問に対応した後、続けて勉強のことを詳しく説明し、他のことには触れずに発表を終える。
 ウ、小学生からの質問に対応した後、中学校生活の日課を詳しく説明し、中学校生活のリズムをイメージさせる。
 エ、小学生からの質問に対応した後、一年間の主な行事を詳しく説明し、小学生の不安を取り除くようにする。

6 次は、まいかさんと、えいじさんの会話の一部である。この会話を参考にして、買い物をしたときにレジ袋を利用することについて、あなたの考えや意見を、あとの〔注意〕にしたがって書きなさい。(六點)

まいかさん 買い物をしたときのレジ袋などが海に流れ込んで、海を環境を汚しているという記事が新聞に載っていたよ。
 えいじさん 大変な問題だよ。でも、レジ袋が利用できないと、不便なときもあるよね。
 まいかさん 買い物をしたときにレジ袋を利用することについては、いろいろな考え方があみたいだよ。

〔注意〕

- ① 題名は書かずに本文から書き出しなさい。
- ② あなたの考えや意見と、その根拠を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えや意見が的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方が正しい、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。

A (国語) 採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

問題	配点	正答例	備考
1 8点	八点	① ひび(く)	* 各一点。 * 字体・字形については、平成二十八年二月二十九日「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」(文化審議会国語分科会)に基づいて採点されたい。
		② いまし(める)	
		③ そろしよく	
		④ げきれい	
		⑤ 浴(びる)	
2 12点	(一) 二点 (二) 二点 (三) 二点 (四) 三点 (五) 三点	⑥ 省(く)	* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 優希がめぐみにお願したことを的確にとらえているか。 ・ 優希がめぐみにお願した理由にふれて書きあらわしているか。 ・ 本文中の言葉を使つて的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。
		⑦ 準備	
		⑧ 貯蔵	
		エ	
		ウ	
イ			
3 12点	(一) 三点 (二) 二点 (三) 二点 (四) 三点 (五) 二点	めぐみが泣くとわたしも泣いてしまい、イギリスに行けなくなる気がするから、わたしの前で泣かないこと。 (四十九字)	* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 優希がめぐみは優希のどのような行動から、どのような強さを感じ取ったのかを的確にとらえているか。 ・ 「……強さを感じ取った。」につながるように書きあらわしているか。 ・ 本文中の言葉を使つて的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。
		めくみは優希のどのような行動から、どのような強さを感じ取ったのかを的確にとらえているか。 ・ 「……強さを感じ取った。」につながるように書きあらわしているか。 ・ 本文中の言葉を使つて的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。	
		独学で英語の勉強を続けていたことから、さびしさを受けとめた上で、ちゃんと未来を見て、前に進もうとする(強さを感じ取った。) (五十一字)	
		自分がそれまで何も知らない存在であったことを初めて知る(こと。) (二十七字)	
		イ	
ウ			
エ			
イ	保育園や幼稚園に行くようになって、同じような年齢層の〈他者〉に出会い、〈他者〉を知ることによって〈自己〉への意識が芽生えること。 (六十四字)	* 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 筆者が挙げている「学ぶ」ということの最初の経験の具体的な例を的確にとらえているか。 ・ 本文中の言葉を使つて的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。	

(裏面へ続く)

6点	6点	4	(一)	二点	③		
			(二)	二点	いづべきようはなし		
			(三)	二点	イ		
6点	6点	5	(一)	二点	ウ		
			(二)	二点	ア		
			(三)	二点	ア		
6点	6点	6	六 点		<p>(例一) 私は、レジ袋を利用しても問題はないと考 えます。なぜなら、レジ袋を利用しても、利 用し終えたあとには有効活用したり、リサイク ルしたりすることで、海の環境を汚すことを 防ぐことができると思うからです。私も、レ ジ袋をゴミ袋として活用したり、地域の資源 回収に出したりしています。私は、レジ袋が 海の環境を汚す原因の一つとなっていること を、身近な問題として考え、自分ができるこ とを実行することが大切だと思います。 (百九十八字)</p> <p>(例二) 買い物をしたとき、レジ袋は利用しないほ うがよいと私は考える。その理由は、レジ袋 を利用すると、利用し終えたあと、ごみにな るからだ。利用し終えたレジ袋のすべてを、 リサイクルすることは難しいと思う。利用し たレジ袋のなかには、ポイ捨てされるなどし て、海に流れ込んでしまうものもあると考え られる。エコバッグを用意し、レジ袋を利用 しないようにし、これ以上、海の環境が汚さ れてしまうことを防ぎたいと考える。 (百九十七字)</p>	100 200 100 200	<p>* 自分の考えや意見をまとめ、的確に伝わるように適切に書きあらわす力をみる問題である。以下のような観点に基づいて採点されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物をしたときにレジ袋を利用することについて、自分の考えや意見を明確に書いているか。 ・ 買い物をしたときにレジ袋を利用することについて、自分の考えや意見の根拠がわかるように書いているか。 ・ 自分の考えや意見が的確に伝わるように、書きあらわしているか。 <p>* 出題の趣旨に合っていればよい。</p> <p>* 字数の不足・超過については、二十字以内の場合は一点を減じる。二十字を超える場合は二点を減じる。</p> <p>* 表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等）、表記に関する誤り（文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方、原稿用紙の使い方等）が二か所あるものは一点を減じる。三か所以上あるものは二点を減じる。</p>
合計 五十点							